

千年あかり

災害に負けない日田を訴え開催

八月二十四日(木)第一回実行委員会が開催され、七月の豪雨災害に負けない日田をアピールするために例年通り「千年あかり」を実施する事となりました。

竹の伐採は昨年と同じ場所とし、竹の伐採作業を九月より二回に分けて行う事も併せて決定されました。

なお、実行委員会では、豪雨災害に負けず頑張っている日田をアピールするためにはどの様な企画が必要か、広く意見を求めて行く事となりました。



今年度の事業計画を協議した委員会

竹伐採作業開始

本年度最初の竹伐採作業が九月十日(日) 昨年度伐採地となった財津町の竹林で行われました。

この日は豆田の地元住民に加えて九電やサップロなどのボランティア七〇名が参加し、二トン車で十四台の竹が伐採され、作業場へ搬入されました。

なお、二回目の竹伐採作業を九月二十四日に行う事になっており、参加希望者は ☎0901194-2949 園田まで連絡をとの事です。



竹伐採場所に集合したボランティアの皆さん。3グループに分かれて伐採作業

御幸通り線 舗装工事始まる

(十八日より夜間工事本格化)

八月二十二日より市道御幸通り線の舗装工事が始まりました。

一期工事は、御幸橋より城内川に架かる濠梁橋までの工事で工期は十一月九日までとなっています。

すでに、石畳みの撤去作業は終了し、九月十八日より、夜間(午後八時より午前六時)に全面通行止めで舗装工事が行われます。

夜間は全面通行止めとなる事から、交通指導員の指示に従って車両は迂回して下さいとの事です。

尚、二期工事は濠梁橋から三本松市営駐車場となっており、本年十二月末までには終了する予定になっています。



石畳みの撤去工事を皮切りに 始まった市道御幸通り線の舗装工事

日本遺産活性化懇話会開催!

八月二十二日(火曜) 天領資料館にて、本年度の第二回目の「日田市日本遺産活性化懇話会」が関係自治会や地元商店街の代表等が参加して開催されました。

今回新規事業として五〇〇円の商品券が豆田の商店街で使用出来るスタンプリーが実施される事となりました。(利用期間は十月一日よりクーポン券終了日まで) その他日田市観光アプリ活用事業などが提案されました。



日本遺産を生かした観光振興や地域活性化事業を協議した懇話会

日田市町並み保存審議会開催のお知らせ

日時 平成二十九年十月二日(月)

午後二時

場所 日田市役所 別館三階・会議室
議題 豪雨災害の被災状況・その他
傍聴希望の方は左記に連絡を

無病息災願つてえん魔様まつり!

恒例の「えん魔様まつり」が八月十六日(水)丸の内の大超寺で行なわれました。

本堂では首藤副住職が打ち鳴らす鉦に合わせて「百万偏大数珠」の供養行事が行われ、参拝者は先祖供養と無病息災を祈っていました。

境内では檀家有志の「明照会」が主催する福引やめだかすくいなどの屋台が並び、子供の歓声が響いていました。



鉦に併せて、大数珠を回す参拝者。子供達は中央の小數珠で願いを込める



「めだかすくい」に興じる子供たち

港町山鉦復元新調記念祝賀会開催

七月十六日(日)、豆田町の紙音で港町山鉦振興会の「山鉦復元新調記念祝賀会」が開催されました。

港町山鉦は、昭和六十三年に復活以来三十年が経過し、部材の損傷が激しく平成二八年三月の「山鉦保存修理委員会」で復元新調工事が正式決定、その後一年かけて平成二十九年三月に完成したものです。

復元新調した山鉦は、可変式の四本柱を有し、五・四mから最高七・三mの高さに変更されるようになりました。



復元新調に至った経緯と、これまで努力された先人に敬意を表し、今後の決意を語る櫻木光生振興会長



復元新調の港町山鉦

二十九年祇園祭り点描

七月五日の豪雨災害で祭り関係者に少なくない被害が出ましたが、土曜の晩山には多くの見物客が参集し、豆田町の意気込みを示す祭りとなりました。



7月22日(土)御神輿巡行の為、御幸橋に並んだ豆田地区4基の山鉦。



神輿巡行で中城町御旅所に揃った4基の山鉦



一新橋上で口上を述べる上町の松尾筆頭押さえ



来訪の喜太郎氏と柴田一成氏(京都大天文台台長)も棒鼻に